

**日本地方自治研究学会
第42回全国大会プログラム**

**統一テーマ
ダイバーシティ時代における地方自治**

2025年9月27日(土)・28日(日)

後援 松戸市 龍ヶ崎市 日本税理士会連合会

会場 流通経済大学新松戸キャンパス

〒270-8555 千葉県松戸市新松戸 3-2-1

ごあいさつ

2025（令和7）年9月27日（土）・28日（日）、日本地方自治研究学会第42回全国大会を、流通経済大学新松戸キャンパスにて開催する運びとなりました。みなさまのご来学を心よりお待ちしております。今大会の統一テーマは、「ダイバーシティ時代における地方自治」です。現在、日本では、ダイバーシティは、人種、性別、年齢などを超えたさまざまな価値観・ライフスタイル、そして障害等の面に注目した「多様性」として捉えられ、少子高齢社会における人材確保など、地方自治に大きな影響を及ぼしています。本学においても、ダイバーシティ共創センターを創設し、障がいの有無、病歴、家庭環境、経済状況、国籍、言語、民族（民俗）、文化、宗教、信条等の多様性を尊重し合い、多様性をもつ一人ひとりが伸び伸びとその個性と能力を発揮できるキャンパスづくりを目指しています。

第1日目（9月27日）は、統一テーマに即して、シンポジウム（題目：「ダイバーシティのまちづくり」）を開催いたします。シンポジウムのパネリストには、本学発祥の地であり、本学龍ヶ崎キャンパスのある茨城県龍ヶ崎市都市計画課長の秋山正典氏、埼玉県吉川市都市計画課長の宗像浩氏、静岡県立大学専任講師の松岡清志氏、モデレーターとしてまちづくりプランナーの岩田隆志氏を迎え、地方自治体の旧来のまちづくりが、ダイバーシティの観点を踏まえ、どのように変わっていくかなどを考えます。会場からの質疑応答の時間も設けますので、積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます（一般公開・無料／会場：講堂）。

第2日目（9月28日）は、本キャンパスの地元・松戸市長・松戸隆政氏による基調講演（題目：「ダイバーシティと子ども政策」）を行っていただきます。松戸氏は、本年6月の市長選挙でご当選されました。県議を4期お勤めになった実績と地元根差した熱い想いは「誇りを持てる松戸」の実現に躍進されています。その後、これからの自治体が歩むための自治体経営を探究するシンポジウム（題目：「ダイバーシティ時代における自治体運営」）を実施いたします。パネリストには、松戸氏をはじめ、関東学院大学教授の松本武洋氏（前和光市長）、茨城県議会議員の中山一生氏（前龍ヶ崎市長）のお二人の首長経験者をお迎えして、ダイバーシティ時代において、自治体はどのように持続可能な経営ないし運営をしていくのかという議論を展開してもらいます。こちらも、会場からの質疑応答の時間を設け、地域におけるこれからの自治体のあり方なども検討できるかと思います。

2日間の大会を通じ、本大会が地方自治研究の発展に寄与することを祈念いたしますとともに、多くの会員のみなさまの積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。

第42回全国大会実行委員長 坂野 喜隆（流通経済大学）

大会参加方法

1. 参加登録フォームと名刺持参

・大会参加者は、次の参加登録フォームにて必要事項の入力を
お願いいたします。＜入力期限：9月15日(月)＞

＜参加登録フォーム＞

<https://forms.gle/qZGyD8quHgPrjq1LA>



・ご参加の際には必ず名刺をご持参ください。会場でお渡ししますネックストラップの名札ケースに名刺を入れてご参加いただきます。

2. 費用

参加費・懇親会費等は、以下のとおりです。準備の都合上、9月16日(火)までに下記の口座までお振込みいただきますようお願い申し上げます。口座名義は、実行委員長名（坂野喜隆/サカノヨシタカ）となっております。これは、郵便局での人格なき社団の口座開設の運用が2021年8月より厳格となったため、常任理事会の承認のもとそのように対応いたしました。なお、大会開催にもかかわらず当日参加されなかった場合、懇親会費及び大会参加費は払い戻しいたしません。その点ご了承ください。

振込期日：2025年9月16日（火）

大会参加費	個人会員 2,000 円
	学生会員 1,000 円
	非会員 4,000 円
懇親会費	5,000 円（当日参加は 6,000 円）
お弁当代（9/27 昼分、事前予約）	1,000 円 ※理事会出席者を除く
お弁当代（9/28 昼分、事前予約）	1,000 円

※大学周辺には、飲食店がいくつかあります。コンビニは大学近くにありません。なお、27日(土)、28日(日)は学生食堂が空いておりません。

【口座氏名】 サカノ ヨシタカ

＜郵便局からお振込みする場合＞

【記 号】 10590

【番 号】 94608691

＜銀行等の郵便局以外からお振込みする場合＞

【店名】 ○五八（ゼロゴハチ）

【店番】 0 5 8

【預金種目】 貯蓄預金

【口座番号】 9 4 6 0 8 6 9

3. 受付開始時間と Wi-Fi

- ・当日の受付開始時間は、第1日(27日)8:50～、第2日(28日)8:30～となります。
- ・流通経済大学新松戸キャンパス1号館2階(13ページの大学構内マップ、参照)に受付を設置しております。
- ・会場内で使用可能な Wi-Fi のパスワードは、当日受付にてお知らせいたします。

4. 登壇者のご準備

- ・本大会は対面で実施いたします。報告者、座長、討論者の方々は、各セッションの15分前には会場にお入りいただき、お打ち合わせ等をお願いいたします。
- ・報告者は USB にパワーポイント等の報告ファイルを保存のうえご持参いただき、会場に備え付きのノート PC のデスクトップ上に開始時間までに保存してください。デスクトップ上に保存頂くのは、セッション中、ファイルをすぐ開けるようにするためです。
- ・報告者が配付資料を持参される場合は、適宜、会場内で配布をお願いします。

5. 予稿集

- ・予稿集は、日本地方自治研究学会ホームページ(<http://bit.ly/4lYiez7>)に9月初旬に掲載します。予稿集を開くパスワードは 42taikai です。当該パスワードは、参加者ご自身のみで利用し、決して他者に教えないようお願いいたします。
- ・実行委員会の方で配布資料や予稿集の印刷は行いませんので、予めご了承くださいませよう、お願いいたします。

6. 全体スケジュール

大会1日目：9月27日(土)

	第1会場 201 教室	第2会場 202 教室	第3会場 301 教室	第4会場 302 教室	第5会場 403 教室
9:30～11:45	自由論題① 自治体の労務 と自治	自由論題② 地方税	自由論題③ 自治のプラット フォーム	自由論題④ ダイバー シティ	企画セッション ①保育サービスの 新たな展望
12:00～13:30	理事会(会場：403 教室)				
13:30～14:00	休 憩				
14:00～16:45	シンポジウム 『ダイバーシティのまちづくり』 (会場：講堂)				
16:50～17:40	会員総会(会場：講堂)				
18:00～19:30	懇親会(会場：学生食堂)				

※休憩室：407 教室／本部及び控室 408 教室

大会 2 日目：9 月 2 8 日(日)

	第 1 会場 201 教室	第 2 会場 202 教室	第 3 会場 301 教室	第 4 会場 302 教室	第 5 会場 403 教室
9:00～11:45	自由論題⑤ 地域政策	自由論題⑥ 地方創生と観光	企画セッション ②廃棄物処理 と自治	企画セッション ③地方税の 国際比較	研究部会報告① 自治体行政に 求められる デジタル時代の 地域づくり
12:00～13:00	休 憩				
13:00～15:00	特別企画シンポジウム 『ダイバーシティ時代における自治体運営』 (会場：講堂)				

※休憩室：407 教室／本部及び控室 408 教室

税理士のみなさまへ

以下の自由論題と企画セッションが「日本税理士連合会が指定する研修」として認定されました。
税理士の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

- ・ 9 月 27 日（土）： 9:30～11:45 自由論題②：地方税
- ・ 9 月 28 日（日）： 9:30～11:50 企画セッション③：地方税の国際比較

大会 1 日目：9 月 27 日(土) 午前の部：9：30～11：45

◆自由論題セッション①自治体の労務と自治（第 1 会場：201 教室）

座長：渡辺 修朗(城西国際大学) 報告各 20 分 一括討論 40 分 質疑 15 分

第 1 報告「Public Service Motivation とバーンアウトに関する研究」

報告者：廣中 洋介(同志社大学大学院)

討論者：大藪 俊志(佛教大学)・原田 悠希(東海大学)

第 2 報告「公務員の業績評価の理解が退職意向に与える影響の分析—Public Service Motivation (PSM) の調整機能に着目して」

報告者：水野 和佳奈(岐阜協立大学)

討論者：大藪 俊志(佛教大学)・原田 悠希(東海大学)

第 3 報告「地方分権時代の自治体職員に求められる行動的成果に関する実証研究」

報告者：岡村 誠(同志社大学大学院)

討論者：大藪 俊志(佛教大学)・原田 悠希(東海大学)

第 4 報告「住民の自治意識を促す対話による政策形成ワークショップの事例—ワールドカフェ方式による進行のメリット」

報告者：林 加代子(愛知学泉大学)

討論者：大藪 俊志(佛教大学)・原田 悠希(東海大学)

◆自由論題セッション②地方税（第 2 会場：202 教室）

座長：倉地 真太郎(明治大学) 報告各 20 分 討論会 40 分 質疑 15 分

第 1 報告「ふるさと納税の現状と課題」

報告者：稲田 圭祐(和光大学)

第 2 報告「ふるさと納税のネット収支が市区町村の住民サービスに及ぼす影響—直近5か年のパネルデータに注目して」

報告者：藤原 一也(関東学院大学／横浜市役所)

第 3 報告「市町村税源の強化と格差について」

報告者：中村 稔彦(長野県立大学)

第 4 報告「観光産業の発展が市町村の税収構造に与える影響」

報告者：高 哲央(沖縄国際大学)

座長・報告者による討論会

◆自由論題セッション③自治のプラットフォーム（第 3 会場：301 教室）

座長：関下 弘樹(和歌山大学) 報告各 20 分 討論各 10 分 質疑各 5 分

第 1 報告「地域イノベーション・エコシステムの理論的検討—中小都市における通常のイノベーションを事例に」

報告者：近藤 健一(兵庫県庁)・藤原 直樹(追手門学院大)

討論者：青木 勝一(文教大学)

第2報告「ICTプラットフォーム時代の持続可能な地方自治、地域づくりのプラットフォーム―ダイバーシティの共創的ICTプラットフォーム」

報告者:長岡 素彦(地域連携プラットフォーム)

討論者:奥山 雅之(明治大学)

第3報告「地域内循環の形成による地域脱炭素社会の構築に向けた検討―高砂市未来技術地域実装事業を例に」

報告者:畑 正夫(神戸国際大学)

討論者:黒木 誉之(長崎県立大学)

第4報告「Location Choice of Japanese Firms in Thai Provinces: Conditional Logit Analysis Using Microdata from Japan and Thailand」

報告者:Keiichiro Suenaga(Meiji University)・Minh Tam Bui (Srinakharinwirot University)・

Eksan Miyazaki (Meiji University)・Masami Saito (Meiji University)・

Yusuke Shibata (Meiji University)

討論者:小野島 真(明治大学)

◆自由論題セッション④ダイバーシティ (第4会場:302教室)

座長:滝川 茜(BDO 税理士法人) 報告各20分 討論各10分 質疑各5分

第1報告「労働供給制約社会における地域産業政策の新展開―外国人関連政策の先進自治体の事例をもとに」

報告者:三宮 直樹(大谷大学)

討論者:梅村 仁(高崎商科大学)

第2報告「ある女性が地方都市で自立生活を営むまで―ライフストーリーインタビューを手がかりに」

報告者:廣野 俊輔(同志社大学)・正木 遥香(流通経済大学)

討論者:石井 雅章(神田外国語大学)

第3報告「地方自治体ジェンダー予算編成の実装条件―多中心的ガバナンスと市民参加型モニタリングの機能分析」

報告者:稲葉 知恵子(拓殖大学)・坂野 喜隆(流通経済大学)

討論者:兼村 高文(NPO法人市民ガバナンスネットワーク)

第4報告「ダイバーシティのジレンマ克服のための方策―国内学会の理事構成の経年的データ分析を通じたスピルオーバー効果の検討」

報告者:茂木 康俊(南山大学)

討論者:上拂 耕生(熊本県立大学)

◆企画セッション①保育サービスの新たな展望（第5会場：403教室）

座長：石田 晴美（文教大学） 報告各 20 分 討論会 40 分 質疑 15 分

第 1 報告「保育サービスにおける危機管理の検討」

報告者：加藤 洋平（愛知大学）

第 2 報告「松戸市の子ども・子育て支援の取組について」

報告者：豊島 美潮（千葉県松戸市子ども部子ども政策課長）

第 3 報告「保育の質の向上に向けた取り組みについて」

報告者：片桐 啓（千葉県白井市健康子ども部元保育課長）

第 4 報告「新型コロナウイルス感染症における保育所と自治体担当課の連携に関する調査結果について」

報告者：手塚 崇子（川村学園女子大学）

座長・報告者による討論会

大会 1 日目：9 月 2 7 日（土）理事会（会場：403 教室）12：00～13：00

大会 1 日目：9 月 2 7 日（土）午後の部 14：00～16：45

◆シンポジウム『ダイバーシティのまちづくり』（一般公開・無料／会場：講堂）

開 会 挨拶：星野 泉（日本地方自治研究学会会長）

モデレーター：岩田 隆志（まちづくりプランナー）

パネリスト：秋山 正典（茨城県龍ケ崎市都市計画課長）

宗像 浩（埼玉県吉川市都市計画課長）

松岡 清志（静岡県立大学）

大会 1 日目：9 月 2 7 日（土）会員総会（会場：講堂）16：50～17：40

大会 1 日目：9 月 2 7 日（土）懇親会（会場：学生食堂）18：00～19：30

大会2日目：9月28日(日)午前の部 9:00～11:45

◆自由論題セッション⑤地域政策（第1会場：201教室）

座長：李 熙錫(城西大学) 報告各 25 分 討論各 10 分 質疑各 5 分

第1報告「函館市における地方自治体のワーケーション政策と実態分析」

報告者：藺 諸栄(函館大学)

討論者：野田 遊(同志社大学)

第2報告「九州地方の水害対策について」

報告者：田代 昌孝(桃山学院大学)

討論者：野田 遊(同志社大学)

第3報告「東京23区における食品ロス削減対策に関する一考察」

報告者：佐藤 恵(国士舘大学)

討論者：水野 和佳奈(岐阜協立大学)

第4報告「中小企業振興策としての日本版エコノミックガーデニングの現状と展望」

報告者：梅村 仁(高崎商科大学)

討論者：原田 悠希(東海大学)

◆自由論題セッション⑥地方創生と観光（第2会場：202教室）

座長：小川 長(福山平成大学) 報告各 25 分 討論各 15 分 質疑各 10 分

第1報告「『本』を基点とする政策と地域の魅力創造」

報告者：初谷 勇(大阪商業大学)

討論者：三浦 留美(城西大学)

第2報告「交通インフラの観光転用による地域価値創造の可能性」

報告書：安本 宗春(追手門学院大)

討論者：松岡 清志(静岡県立大学)

第3報告「コロナ以後の地方創生—地域商社の課題と可能性」

報告書：明石 照久(熊本県立大学)

討論者：松岡 清志(静岡県立大学)

◆企画セッション②廃棄物処理と自治（第3会場：301教室）

座長：鈴木 隆志(日本大学) 報告各 30 分 討論 40 分 質疑 20 分

第1報告「領域を超える廃棄物行政」

報告者：鄭 智允(愛知大学)

第2報告「現場からみた廃棄物行政」

報告書：藤井 誠一郎(立教大学)

第3報告「地域コミュニティと廃棄物行政」

報告者：成田 有佳(立教大学大学院)

座長・報告者による討論会

◆企画セッション③税の国際比較（第4会場：302 教室）

座長：星野 泉（明治大学） 報告各 30 分 討論 40 分 質疑 20 分

第 1 報告「最近の英国の固定資産税の動向」

報告者：兼村 高文（NPO法人市民ガバナンスネットワーク）

第 2 報告「日独の地方法人課税」

報告者：半谷 俊彦（和光大学）

第 3 報告「北欧・デンマークの地方税と財源保障システム」

報告者：倉地 真太郎（明治大学）

座長・報告者による討論会

◆研究部会報告①自治体行政に求められるデジタル時代の地域づくり（第5会場：403 教室）

座長：畑 正夫（神戸国際大学） 報告各 25 分

第 1 報告「デジタルネイティブとの共創まちづくり（第2報）」

報告者：陣内 雄次（宇都宮共和大学）

第 2 報告「デジタル時代におけるシティブランディング」

報告者：石井 雅章（神田外国語大学）

第 3 報告「生物多様性情報を地域と世界で共有する環境政策およびまちづくりにおけるデジタル・プラットフォームの可能性」

報告者：村山 史世（麻布大学）

第 4 報告「政令指定都市における DX 人材の現状と方向性」

報告者：田中 優（日本福祉大学）

第 5 報告「ICT プラットフォーム時代の持続可能な地方自治、地域づくりの共創的 ICT プラットフォームと新しい自治—デジタルパノプティコンと DX、ダイバーシティの否定を超えて」

報告者：長岡 素彦（一般社団法人 地域連携プラットフォーム）

第 6 報告「デジタル公共圏の姿を構想する」

報告者：畑 正夫（神戸国際大学）

大会 2 日目：9 月 28 日（日）午後の部 13：00～15：00

◆特別企画シンポジウム『ダイバーシティ時代における自治体運営』（一般公開・無料／会場：講堂）

座 長：坂野 喜隆（流通経済大学）

開会挨拶：星野 泉（日本地方自治研究学会会長）

基調講演：「ダイバーシティと子ども政策」

講 演 者：松戸 隆政（松戸市長）

シンポジウム『ダイバーシティ時代における自治体運営』

パネリスト：松戸 隆政（松戸市長）

松本 武洋（関東学院大学・前和光市長）

中山 一生（茨城県議会議員・前龍ヶ崎市長）

会場案内

新松戸キャンパス

門も塀もないコの字型の1号館は、「地域に開かれた大学」を体現するデザイン。2004年に竣工し、13階建ての高層棟は松戸市のランドマークになっています。また、2016年に竣工した2号館には体育館や心理実験室を設置。最新設備が学生の学びを広げます。



<新松戸1号館>

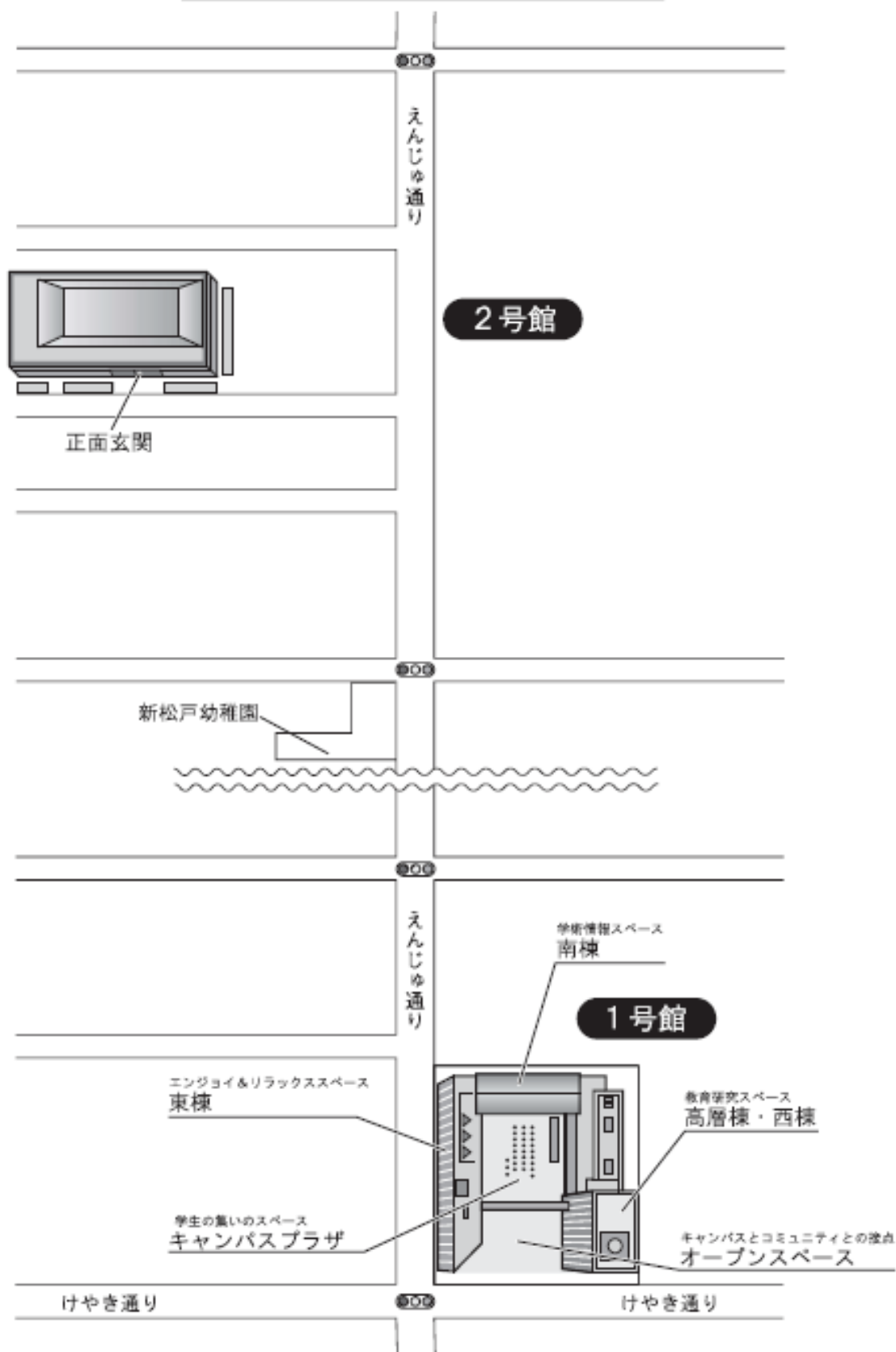
〒270-8555 千葉県松戸市新松戸3-2-1

TEL. 047-340-0001 (代表)

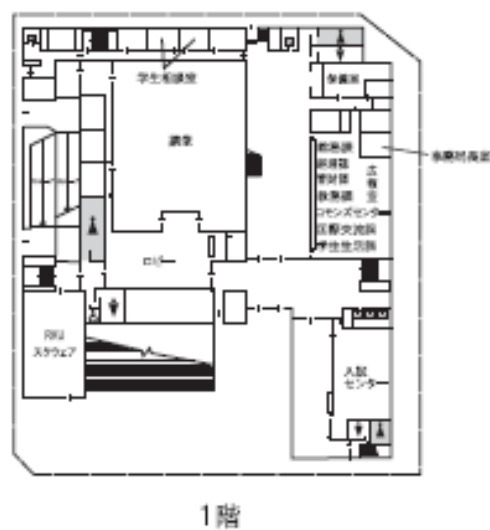
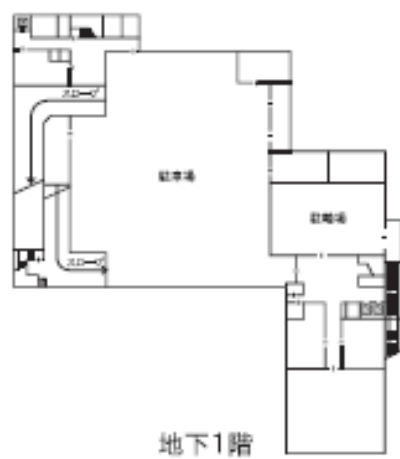
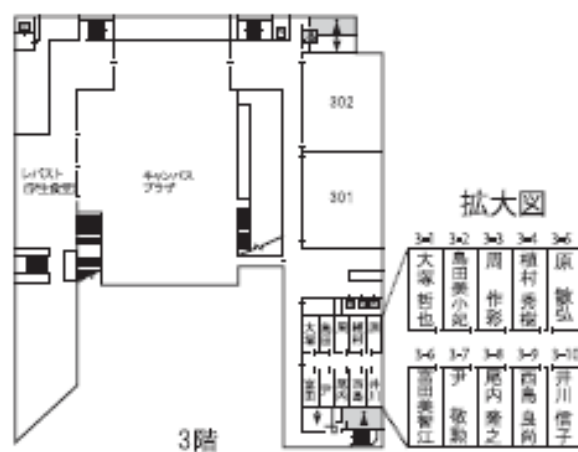
<新松戸2号館>

〒270-8555 千葉県松戸市新松戸3-371

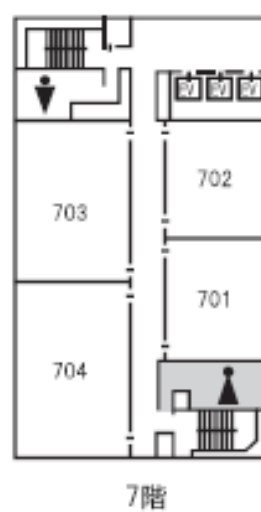
新松戸キャンパス



1号館



1号館



日本地方自治研究学会第42回全国大会実行委員会

- ・実行委員長：坂野喜隆（流通経済大学）
- ・大会総括：中村稔彦（長野県立大学）
- ・実行委員：加藤洋平（愛知大学）、鈴木隆志（日本大学）、手塚崇子（川村学園女子大学）
松岡清志（静岡県立大学）、小林 壘（流通経済大学）

（50音順、敬称略）

日本地方自治研究学会第42回全国大会プログラム委員会

- ・プログラム委員長：坂野喜隆（流通経済大学）
- ・プログラム委員：倉地真太郎（明治大学）、手塚崇子（川村学園女子大学）
中村稔彦（長野県立大学）、星野 泉（明治大学）

（50音順、敬称略）